



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2018年1月・2月合併号*

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

1月 IBC/DBC 国際/国内兄弟クラブ
2月 TOF 断食のとき

— 主 題 —

国際会長 Let Us Walk in the Light- Together
—Fellowship across the Borders—
アジア会長 Let Us Walk in the Light- Together
東日本区理事 広げよう ワイズの仲間
北海道部部長 EMCの強化
札幌クラブ会長 楽しいワイズ

Henry Grindheim (ノルウエー)

Tung Ming Hsiao (台湾)
栗本 治郎 (熱海)
森 熊治郎 (札幌北)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長 柴田 伸俊
副会長 中田 千鶴
書 記 中田 靖泰
会 計 秋葉 聡志
直前会長 宮崎 善昭

今月の聖句

平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。
マタイによる福音書 4章9節 佐藤雅一 会員選

札幌雪まつりへようこそ！ 例会もお訪ね下さい！



北海道部 新年合同例会



2月の札幌は大きなトランクを引きずる家族ずれの外国人観光客に占領されています。大雪像は見慣れているはずの札幌クラブの会員も毎年の新趣向にその都度驚かされています。

右上の写真は奇しくも札幌クラブのIBCの台湾台中クラブの旧駅舎です。幾度も訪れた台中クラブへの旅を思い出しました。左はノルウエーのストックホルム大聖堂だそうです。ぜひ一度は雪祭りを見に来て下さい。来札の折はクラブ訪問をお忘れなく！

左の写真：1月8日、北海道の4クラブの新春合同例会が開かれました。3クラブ19名が集まり、親睦を深め今年の躍進を語り合いました。

2017年12月例会
出席報告

在籍会員 10名 例会出席 4名 メネット 0名 メーキアツプ 0名
ゲスト 1名 ビジター 2名 計 8名 出席率 40%

2018年1月例会
出席報告

在籍会員 10名 例会出席 5名 メネット 0名 メーキアツプ 0名
ゲスト 4名 ビジター 3名 計 19名 出席率 50%

札幌ワイズメンズクラブ例会

2018年2月例会

日時 2018年2月20日(月) 18:30~20:30

会場 北海道 YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目1-2

Tel. 011-561-5642

会費 1,000円

プログラム

司会 中田 靖泰

- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
 ② ワイズソング・ワイズの信条 全員
 ③ 聖句 佐藤 雅一
 ④ 会長挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
 ⑤ 誕生日 1月5日 伏木 恵美子
 結婚記念日 なし
 ⑥ 卓話

「日中韓YMCA

ピースフォーラムに参加して」

北海道YMCA総主事

秋葉 聡志

- ⑦ 諸報告
 ⑧ YMCA報告 担当主事 佐藤 雅一
 ⑨ みんなで歌おう

「アラン」



- ⑩ 閉会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊

何故この聖句を?

担当主事 佐藤 雅一

平和の祭典と言われるオリンピックですが、今回は北朝鮮問題と絡み合い政治色の強いオリンピックとも言われています。

メダルの数や経済的利益、そして政治的思惑ばかりが話題になりますが、「平和のために」という視点はもはやオリンピックの世界では死語になったのでしょうか。

競技を見ていて、人生のすべてをオリンピックのために費してきた選手ほどに、自分は平和のために努力をしてきたらどうかと反省させられます。平和を実現する人になれるよう、オリンピック選手を見習って努力します。

札幌ワイズメンズクラブ12月例会

日時: 2017年12月21日(火) 18:30~20:30

場所: 北海道YMCA 101教室

参加者: 佐藤、柴田、中田靖、伏木

ゲスト: 阿部悠(卓話者)、高橋芽久(Yスタッフ)
 クリスマスシーズンため、他の会議、社用、行事が重なり参加会員は4名でした。阿部悠さん(リーダー名:おから)の山中湖のYVLF報告をお聞きしました。ただ単にフォーラムで見たこと、聞いたことを語るだけではなく、ボランティア活動への関わり方、さらに深くこれからの自身の生き方にも思いをめぐらせた報告には参加者一同感動しました。

ワイズのユース事業、特にYVLFの意義を再確認し、実施に尽力しておられる委員、クラブ、メンの皆様への感謝を新たにしてくれた卓話でした。



前列: 左から、柴田、阿部、高橋
 後列: 左から、木田(Yスタッフ)、伏木、佐藤、中田

北海道部新年合同例会

日時: 2018年1月8日(月・祝) 15:30~18:00

場所: 北海道YMCA 総主事室

出席者:

十勝クラブ: 池田、中村、山田、山本、渡辺、
 札幌北クラブ: 小谷、熊、高杉、森、森本、義村
 札幌クラブ: 秋葉、佐藤、柴田、中田、宮崎
 ゲスト: 金子正美(ゲストスピーカー)、
 中原準一(札幌北クラブ元会員)、
 松田進(ギデオ協会北海道代表)

2度目の北海道部合同新年例会でした。残念ながら北見クラブは欠席でしたが、楽しい有意義な例会でした。下は決意を語る山田次々期東日本区理事。



12月例会卓話 第30回ユースボランティアリーダーズフォーラム参加報告



熱弁をふるう阿部おからリーダー
ちょっとピンボケで済みません。」

北海道 YMCA ボランティアリーダー 阿部 悠

北海道大学農学部2年（リーダーネーム：おから）

9月8日から10日まで、東京YMCAの山中湖センターで行われたユースボランティアリーダーズフォーラムに参加させていただきました。北は北見、西は富士山から集った30人以上の同年代のリーダー達と過ごした3日間は、私にとって新しく魅力的な言葉、考え方、そして人との出会いにあふれていました。テーマは「今、ユースボランティアリーダーに求められていること」です。日本YMCAの神崎総主事から基調講演をいただき、グループでの話し合いを行いました。他にも、ビッグカヌー、キャンプファイヤーなどプログラムが目白押しでした。普段はリーダーとしてキャンプに参加します。でも今回はメンバーの立場でした。すると、全くの他人だった仲間と打ち解けていく不思議さ、リーダーの心強さ、そして何より、自分がその場にいることの喜びに気づくことができました。

3日間で本当に多くの学びを得ました。心に残っているのは、相手に気持ちを伝える、速くて細かい拍手をみんなで練習したことです。勝利に対して「おめでとう」、発表の後の「よかったよ」、感謝を込めて「ありがとう」。

その拍手ごとに意味があるはずなのに、私にとって拍手は、反射的に行う作

業になっていました。日常の些細な動作に対し、みんなで改めて意味づけし、気持ちを込めることは、とても温かくて豊かなことだと思います。

話し合いでは、「失敗を恐れる」「十分に愛情を受けられていない子供がいる」「自分の意見が言えない」「人とのつながりが薄れている」の4つについて話し合いました。3日間でグループとして何か一つの結論に至ったわけではありません。ですが、フォーラムを経て、私にはリーダーとしての目標ができました。それは、隣にいるリーダーになることです。自分の意見が言えるのは、「何を言うか」ではなく、「そこにいる自分」を求められたときだ、とグループで話し合いました。完璧でなくていい、私の隣には「あなた」が必要なんだよ、と言葉や態度で伝えていくことは、リーダーに求められていることの一つだと思います。

結果・結論が大切な時もあります。けれど、今回は、思い思いに考えていることを口にし、意見しあった時間こそ、かけがえのないものだと感じました。このような貴重な経験を与えていただけたことに感謝するとともに、札幌にこの経験を還元するべく、リーダー活動に励みます。お世話になったスタッフ・リーダーの皆様、そしてご支援くださったワイズメンズクラブの皆様、ありがとうございました。

北海道部合同例会卓話

北海道新年合同例会卓話 マレーシア・ボルネオ等の自然環境問題と酪農学園大学の活動



マレーシアのボルネオ島（南のインドネシア領はカリマンタン）には世界有数の熱帯林があります。その熱帯林が今信じられないほどの速度で伐採されています。伐採された木材の最大の輸入国はわが日本国です。このまま伐採が続くと遠からず熱帯林はボルネオから消滅し、それとともにオランウータンやボルネオ象もボルネオから姿を消してしまいます。

酪農学園の金子正美教授は学生たちと現地に乗り込み村の人々と帰郷を共にして木材を売らずに暮らしていけるすべを共に考えるという素晴らしい働きをされています。

北海道部新年合同例会では金子教授をお招きしてつぶさにその取り組みを伺い、認識を新たにし、大きな感銘を受けました。詳しくは札幌北クラブのブリテンをご覧ください。

★ 酪農学園大学 「日本酪農の父」と呼ばれる故黒沢西蔵氏により創立された北海道酪農義塾を起源とする。札幌に隣接する江別市にある。私立大学を持つ。キリスト教の「神を愛し、人を愛し、土を愛す」という三愛主義に徹想・学理に基づいた実学教育を目指し、海外との交流も盛んで、留学生も積極的に受け入れ海外でも高い評価を受けています。

★ 金子正美氏 酪農学園大学教授。元地北海道庁を経て、酪農学園大学教授。専門は環境分析。特に、ドローンを用いた自然環境分野の地理情報システムの構築及び自然環境評価手法の開発で有名。国連大学が認定するESD(持続可能な開発のための教育)を実践する「RCE道央圏」の代表としても八面六臂の大活躍されている。

YMCAニュース 担当主事 佐藤 雅一

① **ピンクシャツデー**

いじめのない社会を目指し、YMCAはピンクシャツデーの取り組みを始めました。社会全体がイジメに対して高い意識をもち、イジメの被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者」にならないことが、イジメられている子どもを救うことになると私たちは考えます。

「ピンクシャツデー」とは？

2007年カナダであったお話です。ピンクのシャツを着て登校した少年がゲイだとイジメられました。それを見た2人の学生が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り翌日に登校をします。学校では呼びかけに賛同した多くの学生がピンクのシャツを着て登校しました。学校中がピンク色に染まりイジメが自然となくなったそうです。

そのエピソードがSNSなどで世界中に広まり、今では70カ国以上でイジメに対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が2月最終水曜日でした。それ以降、**2月の最終水曜日**にはイジメについて考え、イジメられている人々と連帯する思いを表す1日としてピンクのシャツを着る運動が世界中に広まっています。

今年の2月最後の水曜日は2月28日（水）です。

是非、ピンクのシャツや小物身に付けて、皆さまのイジメに対する思いや写真を当サイト（フェイスブック・公益財団法人北海道YMCA）に投稿してください。

② **2月25日（日）フレンドシップサッカー**

サッカー・フレンドシップリーグが行われます。時間は9：00-15：30です。例年通り、札幌ワイズによるコーヒーサービスが行われます。ホットコーヒです。

③ **Y'Sベル杯水泳発表会**

3月4日（日）第18回Y'Sベル杯水泳発表会が行われます。時間は9：00-13：30です。今年で18回目を迎える「Y'sベル杯の水泳大会」が開催されます。この大会は、水泳クラスで頑張ってきた子どもたちにとって年に1回の練習の成果の発表の場になっています。

大会の名前にある通り、ワイズが支援して実施している大会で、札幌ワイズによるコーヒーサービスが行われます。暑いプールから出てきて飲むので、今回はアイス・コーヒです。

④ **国際フェスタ in とかち**

2月10日・11日に帯広森の交流館・JICA北海道センター（帯広）で行われた「国際フェスタ in とかち」に北海道YMCAが参加し、ベトナムボランティアワークの旅の紹介、ベトナムグッズ・ビーズキーホルダーの販売を行いました。

⑤ **日本語集中クラス**

2月1日-13日にかけて2017年度冬期日本語集中クラスが行われ、台湾から6名の青年達が日本語を学び、日本の文化や札幌の観光を楽しみました。

2017
いじめのない
世界をめざそう



YM 北海道YMCA
2018年2月29日

今後の日程

- 2月20日（火） 札幌クラブ 2月例会
- 2月25日（日） フレンドシップサッカー
（コーヒサービス）
- 2月27日（火） 札幌クラブ 2月事務会
- 2月28日（水） ピンクデー
- 3月 4日（日） ワイズベル杯
（コーヒサービス）
- 3月20日（火） 札幌クラブ 3月例会
- 3月27日（火） 札幌クラブ 3月事務会
- 4月 8日（日） 北海道 YMCA
創立記念日集会



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。